

【元気なまちづくり部門】記入例（1回目）

市民活動助成

（必ず記入してください）

《団体名》

団体名	〇〇〇〇〇の会		
代表者	小牧 太郎	連絡先	■■-■■■■

《事業名称》

子どもの心を育む体験活動 事業

《助成部門》（下記の2部門から選択してください。）

<input type="checkbox"/>	【はじめての一步部門】
<input checked="" type="checkbox"/>	『元気なまちづくり部門』

《助成回数》 ※『元気なまちづくり部門』で申請する団体のみ記入

<input checked="" type="checkbox"/>	1回目
<input type="checkbox"/>	2回目
<input type="checkbox"/>	3回目

助成回数は同一事業につき、**最大3回**までとし、【はじめての一步部門】も含め、過去に採択された回数も含めます。

《申請金額》

【はじめての一步部門】で申請する団体

円 ※上限5万円（補助率90%以内）

『元気なまちづくり部門』で申請する団体

1回目	100,000 円	※上限10万円（補助率80%以内）
2回目	円	※ // （補助率70%以内）
3回目	円	※ // （補助率60%以内）

《事業の目的と申請する理由》

交付申請書1（3）と同内容を明記。

昔に比べると最近の子どもはTVゲームなどの屋内で遊ぶ機会が多くなり、自然に触れることで身に付く感覚を養ったり、自然のものを利用して何かを創作するという機会が少なくなっていると思われます。そのような子どもたちを対象に、里山から採取した粘土を利用しての陶芸教室や木工教室を開校し、屋外で遊ぶ楽しさ、創作する喜びを知ってもらうとともに、自らが創ることにより、モノを大切に作る心を育むための活動費用として助成金の交付申請をします。

《事業の内容》 ※できるだけ詳細に！

1、野外活動

1) 里山散策2回（7月から9月）

里山にて、創作に使用する季節の植物や木の実を採取しながら、里山コーディネーターより、里山保全の手法や自然環境についてお話を聞く。

2) 創作活動（10月から11月※陶芸は、土練り・成形・焼成まで行うので期間は調整します。）

採取してあった材料を使用し、紙粘土を使用した小物づくりおよび、里山から採取した土を使用した陶芸体験。

3) 作品発表会と体験感想文まとめ

1回目の申請では記入の必要はありません。これは記入例です。

《前回からの改善点》 ※助成回数が2回目および3回目の団体のみ記入

前回は、一部にしか募集告知が出来ず、参加者を集めるのに苦労したので、今回は小牧市全体に参加者募集告知が出来るよう、各広報紙や新聞等の協力を得る等の改善を図ります。

《事業の工程》 ※企画・準備・実施等について、できるだけ詳細に！

例) 企画立案 (平成■年●月～▲月)

- ・ 企画立案 (平成25年6月)
- ・ 野外活動実施 (平成25年7月から9月) 2回
- ・ 企画立案 (平成25年8月から9月)
- ・ 創作活動実施 (平成25年9月から10月から11月) 2回
- ・ 作品発表会の開催 (平成25年11月)
- ・ 事業実施の振り返り (平成25年12月)
- ・ 来年度に向けた事業計画 (平成26年1月から3月)
- ・ 報告書作成、提出 (平成26年3月)

《事業の対象者》

市内在住の児童 (年齢不問) とその保護者

《期待される効果》

子どもたちに、ゼロからモノを創る喜び、モノの大切さを知ってもらえ、リデュース・リユース・リサイクルや地産地消の精神が育まれる。

《選択審査項目》 ※『元気なまちづくり部門』で申請する団体のみ記入
事業の内容で特にアピールしたい2項目を下記から選択してください。

	地域性	活動が地域に寄与することが期待できる
	自立性	自己努力による資金確保に努めている
	先駆性	新しい社会を作り上げるために期待ができる開拓的なものである
	実現性	実行可能な方法、スケジュール、予算である
○	問題提起性	社会への新たな問題提起につながる
○	効果性	効果の広がりが期待できる

上記で選択した項目以外にもアピールしたい項目があれば、プレゼンテーションで発表してください。

《発表方法》 ※『元気なまちづくり部門』で申請する団体のみ記入
予定しているプレゼンテーションの方法を記入してください。

パワーポイントを使用し、紙資料により補足説明を行う。

《今後の展開》 (団体の今後のビジョン『到達目標』を記入してください。)

今年度から3年間の活動を通じて、団体及び活動の周知PRを図り、徐々に活動範囲を広げ、将来的には「里山分校」を開校し、学校活動とは違った視点による健全育成を図っていきたい。
なお、初年度は20名の受講生の定着化を目指し、二年目は30名、三年目は40名と、徐々に受講生を増やしていき、最終的には100名体制での里山分校を展開していきたいと考えています。

《その他》

- ・ 記入した本シートの他に、事業内容を示す資料があれば添付してください。
- ・ 事業内容、申請理由、今後の展開 etc.で書き足りない場合は、別紙を用意してください。